

# 高知県緑の少年団

## 活動発表大会・交流大会 <報告>

令和10年春に本県で開催される第78回全国植樹祭と緑の少年団結成50年に向けて、当会では高知県緑の少年団連合会の体制強化に取り組んでいます。

その一環として、本年3月1日(日)、高知県立森林研修センター情報交流館(香美市土佐山田町)にて、高知県内の緑の少年団の子どもたちと関係者など約60名が参加し、これまでの活動内容を発表し、お互いの理解と連携を促進するための交流大会を開催しました。

### 活動発表大会の報告

午前、緑の少年団4団体が地域の特色を生かした日頃の活動について発表しました。

#### 米奥小学校緑の少年団

学校林での巣箱かけや木の名札付け、四万十川の水生物観察、地域の風物詩となっている丸太鯉づくり、花植えボランティアや河川の清掃など、全校児童15名と地元の方々が連携した活動を紹介し、地域の環境や伝統文化を生かした学習の成果について発表しました。

#### 香美市こどもエコクラブ緑の少年団

15年間続けてきたシカの食害から奥物部の自然林を守る取り組みや環境イベント「よってたかって香美市でエコ!」の開催、室戸海岸でのごみ調査や手結海岸での清掃活動など、山だけでなく海にも視野を広げた環境学習の取り組みについて壁新

間を使って発表しました。

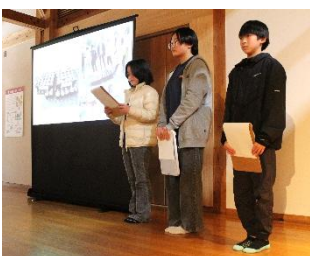
#### 南国市子ども会連合会緑の少年団

森林保全の意義を知ってもらうことを目的に大篠子ども食堂で森のはたらきを紹介するパネルを展示したこと、椎茸の駒打ち体験を実施したことを発表しました。

駒打ち体験の事前準備として、ジュニアリーダーが中心となり耕作放棄地を整備し、椎茸栽培のための環境づくりに取り組んだことについても紹介しました。

#### 東又小学校緑の少年団

地元の森林保全ボランティア団体である朝霧森林倶楽部などと連携し、樹木の名札付けやツリーイング、地域に自生する雁皮を使った卒業証書づくりなど、学校林を活用した独自の学習を寸劇形式で紹介し、活動を通して育まれる森林環境への理解と地域とのつながりの大切さについて発表しました。



米奥小学校緑の少年団



香美市こどもエコクラブ  
緑の少年団



南国市子ども会連合会  
緑の少年団



東又小学校緑の少年団

発表後に審査員5名による厳正な審査の結果により表彰式を行い、受賞団体に表彰状と副賞が贈呈されました。最優秀賞に選ばれた東又小学校緑の少年団は、令和8年度の全国緑の少年団活動発表大会の高知県代表に推薦する予定です。

## 交流大会の報告

活動発表大会の後、昼食と合わせた交流会や森林体験学習を行いました。

### 🌿 昼食と交流会

森林保全ボランティア団体の講師が竹の特徴や竹の切り方などについて説明し、子どもたちはお米を入れた竹筒を火にかけて炊き上がる間に竹工作やピザ焼きを体験しました。ノコギリやオノを使って竹を切り、割る体験をした後、竹のお箸とお皿づくりにも挑戦し、仕上げたお箸を使ってご飯を味わいました。



ノコギリを使って竹を切りました。



お箸のサイズに竹を割って、ナイフで削りました。

### 🌿 森林体験学習

昼食の後、小学低・中学年の子もたちは、ロープを使った崖登りや自然を発見するビンゴゲーム、アスレチック遊びなどで自然を体感しました。小学高学年以上の子もたちは、高知県立林業大学の講師や研修生らから林業で使うチェーンソーや必要な装備などについて教わり、チェーンソーで丸太を伐る実演を見学した後、ノコギリを使った丸太切りやオノを使った薪

割りを体験しました。子どもたちは、初めは不慣れな作業も次第にコツをつかんで、切り終えたときには達成感に満ちた笑顔が広がっていました。



ノコギリを使った丸太切りを体験しました。



アスレチックネットで自然を体感しました。

今回の大会は初めての試みでしたが、世代を超えた交流など多くの方々のご協力により、とても内容が濃く、次世代を担う子どもたちにとっては貴重な体験の機会となりました。

県民共通の財産である森林を未来に引き継ぐために、緑の少年団の育成、活性化につながる大会を次年も同じ時期に実施します。



集合写真) 高知県緑の少年団の子もたち

## 緑の少年団のつくり方

- 団員を募集して名称をつけましょう
- 団の決まりをつくりましょう
- 高知県緑の少年団連合会に登録しましょう  
(各種支援制度が利用できます)

※詳細については、高知県森と緑の会事務局までお問い合わせください。

TEL 088-855-3905

E-mail info@moritomidori.com